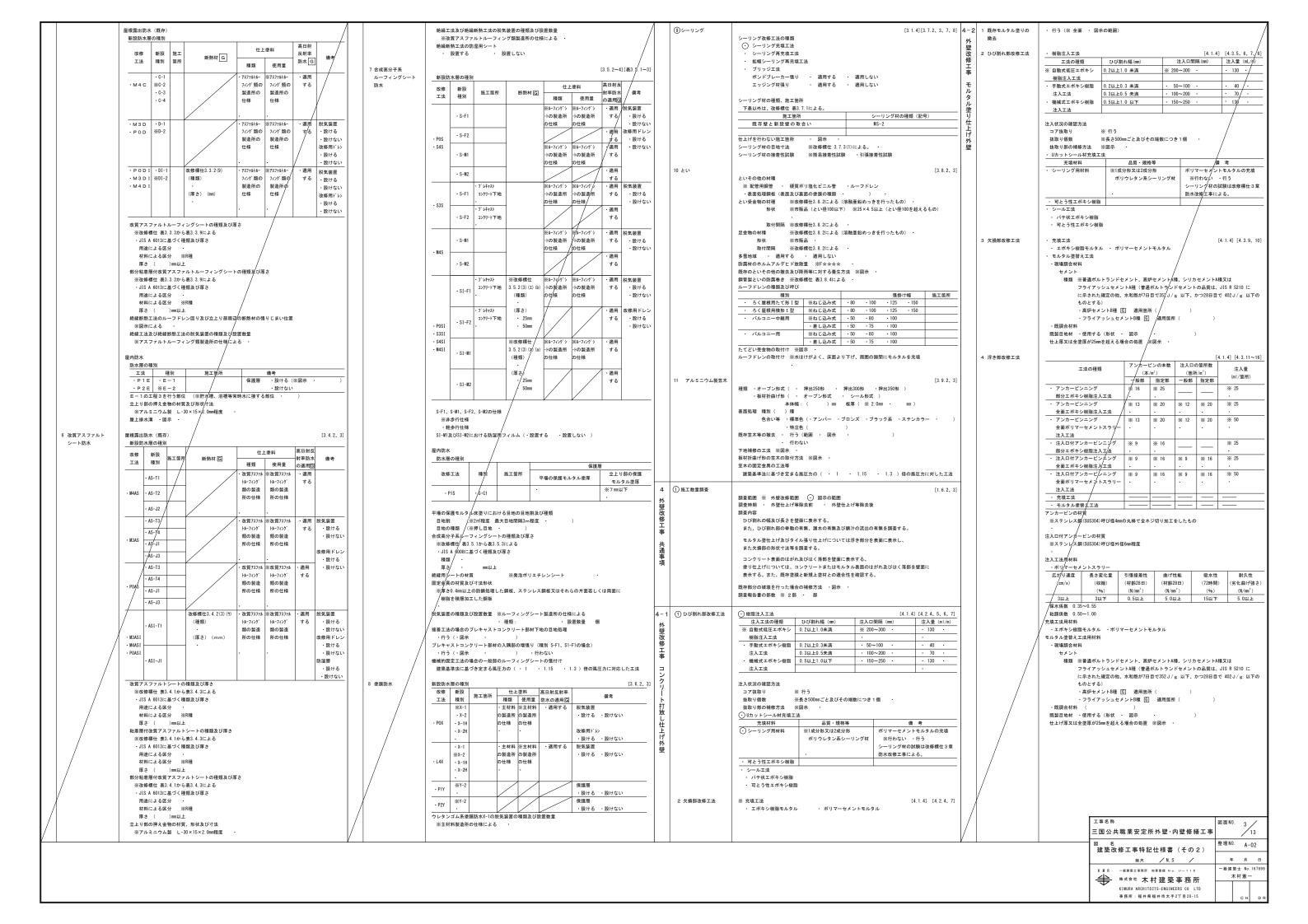
三国公共職業安定所外壁 內壁修繕工事

仕様書

		図面!	ノスト		
図]面番号	図面名称	図	面番号	図面名称
01	A-00	表紙・図面リスト	10	A-09	2·R階平面図
02	A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	11	A-10	各側立面図
03	A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	12	A-11	1・2階天井伏図
04	A — 03	建築改修工事特記仕様書(その3)	13	A-12	各室展開図・建具表
05	A — 04	建築改修工事特記仕様書(その4)			
06	A — 05	建築改修工事特記仕様書(その5)			
07	A-06	建築改修工事特記仕様書(その6)			
08	A — 07	内外部仕上表(改修前後)			
09	A — 08	配置図・案内図・1階平面図			

工事名称		図面NO. 1				
図名	t職業安定所外壁·内壁修繕工事	整理N). A-	-00		
内	外部仕上げ表(改修前後) ^{縮尺} / N.S /	4	. 月	В		
K N R	- 繊維集士事務所 知事登録 No. い-115 株式会社 木村建築事務所		築士 No. 木村憲一			
▼	KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所:福井県福井市大手2丁目20-15		СН	DR		

	章	項目	特 記 事 項	① 石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1]	(④ 仮設間仕切り	[2.3.2][表 2.3.1]
三国公共職業安定所外壁‧內壁修繕工事 改修工事設計図	1	① 適用区分		1	※石綿含有建材の事前調査			1) 仮設間仕切り及び仮設層の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等
	-				工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、 成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、管理技術者(監理)に報告する。			種 別 仕上げ (厚さmm) 塗 装 充填材 ・ せっこうボード ・無し グラスウール 32k
	段				調査範囲 (① 外壁 ・図示)			- A 種 種類 (·) - 片面 ※厚さ 50mm以上
特 記 仕 様 書	事	② 工事実績情報サービス	③ 適用する ・ [1.1.4]		貸与資料()			厚さ (・ mm ※ 9.5mm) ・ 合板
I 工事概要	項	(CORINS)への登録			分析による石総含有建材の調査			種類 (・)
1. 工事場所 福井県坂井市三国町覚善69-1		③ 品質計画等	○ 建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 (1.2.2)		分析対象			· B種 厚さ(・ mm ※ 9mm)
2. 敷地面積 1,386.70m ²		O	※ 風速 (Vo= 30)		アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、 アンソフィライト、トレモライト			※ C 種 防炎シート
3. エ事種目及び <u>外壁・内壁修繕工事</u> エ事内容 1. 外壁の改修			※ 地表面組度区分 (・ I ・ II ⊙ II ・ IV) ・ 積雪区分 H12建告示第1455号 別表 (28)		分析方法			3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等
2. 内壁の改修					定性分析方法 定量分析方法 材料名 JIS A 1481-1 または JIS A 1481-3、JIS A 1481-4			材 質 仕上げ 塗 装 設置個所 グラスウール貼り
3. 天井の改修 4. トイレブースの取替え		4 電気保安技術者	※ 適用する [1.3.3]		JIS A 1481-2			※ 木製 ※ 含板張り程度 ・ 無し ・ か所 ・ 有り ・ 片面 ・ 図示 ・ 無し
5. 車庫の塗装補修		C 4 14 00	O voussemble by				@ *** * * * *** **	グラスウール貼り ※ ゲラスケール32k (厚:50mm以上)
		(5) 条件明示項目	○ 現場説明書による。[1.3.5]		. 箇所 .		⑤ 監督員事務所	- 既存建物内の一部を使用する · 構内に設置する ○ 設けない
		⑥ 発生材の処理等	○ 現場説明書による。 ・ 構外搬出適切処理 [1.3.12]		サンブル数 1箇所あたり3サンブル 探取箇所 · 図示 ・ 分壁・外階段裏			・ 規模及び仕上げの程度は現場説明書による
		⑦ 環境への配慮	(1.4.1) [1.4.1]				⑥ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
			(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、	 室内空気中の化学物質の濃度測定 	(1.5.9) [1.7.9] 株工学子味に変わった。 / フェデトド・トルエン・オシレン・フェデル ペンポン・フ		⑦ 工事用電カ	構内既存の施設 ・ 利用できない ※ 利用できる (※ 有償 ◆ 無償)
			次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティク	0万藏发机	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ス チレンの濃度を測定し、管理技術者(監理)に報告すること。			
			ルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、 塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない		測定はバッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う ○ 行わない	3	1 施工数量調査	調査範囲 · 図示 · [1.6.2、3] / 調査方法 · 図示 ·
			材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用す		測定対象室 ・図示 ・事務室 測定箇所数 ・図示 ・ 力所	防		既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示
			る。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用		報告の様式等については、現場説明書による。	改		調査報告書 提出部数 2部
			する。	(2) 完成時の提出図書	・ (建築改修) 工事特記仕様書による。 [1.7.1~3] [表1.7.1]	事		
4. 指定部分 ※ 無			③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジーnープチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。		※ 完成図・財産図 ※ 原図・複写製本		2 降雨等に対する養生方法	※ 改修標仕 3.1.3(5)(7)~(f)による。 [3.1.3]
· 有 対象部分 () 指定部分工期 年 月 日			④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、		提出部数: 原図(A1版 3つ折り図面ファイル共) 1部			[3.1.4](3.2.3, 4, 6]
5. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。			アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したもの		複写(A3版 製本) 1部 提出先: 機構本部(検査員) ※工事場所施設(施設管理者)		3 既存防水の処理	既存保護層の撤去・ 行う(範囲・ 図示・) ・ 行わない
・「3.工事種目」のうち各工事における工事範囲は下記表のとおりとする。		⑧ 材料の品質等	(1.4.2) [1.4.2]		※ 完成図・財産図のCADデータ及びPDFデータ入りCD-R			既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・)
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。			(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能 を有するものとする。		提出部数: ※2部 部 提出先: ※機構本部(検査員) 1部 ※工事場所施設(施設管理者) 1部			・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う (・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X)
工事種目 内外部改修			(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使		種類 すべての図面とする。ただし、参考図、撤去図等は削除することができる。			・ 行わない
工事項目			用する場合は管理技術者(監理)の承諾を受ける。 (3) 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		※ 施工計画書 提出部数 ※ 1部 · 部 ※ 施工図 提出部数 ※ 1部 · 部		4 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ [3.2.6]
2 仮設工事 ●			(4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての		保全に関する資料 提出部数 ※ 2部 部			POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等
			事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して管理技術者(監理)の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が	13 埋設配管・配線埋設	あと施工アンカー工事			の処置 ※改修標仕 3.2.6(4)(ウ)(g)①~③による・
3 防水改修工事			記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。	配管・配線	6章および8章<あと施エアンカー>による			設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口部
4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁			① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。		コア抜き、はつり工事等			等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 管理技術者(監理)と協議する ・ 図示
外壁攻修工事			③ 安定的な供給が可能であること。		※ 既存資料調査・ 物本機(原理第一、 が一、 は又は原理等を発達は)による物本		5 777711 LPtv	屋根保護防水 (既存) [3.3.2~5][9.2.1~3]
モルタル塗り仕上げ外壁 外壁改修工事			④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。		・ 探査機(電磁波レーダー法又は電磁波誘導法)による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う		5 アスファルト防水	新設防水層の種別
タイル張り仕上げ外壁 外壁改修工事			⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。(5)製造業者等に関する資料の提出を求める材料		範囲 ※ 図示 放射線透過試験			工法 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート - ・ A − 1 ※ボリエテレンフィルム
*/ 1 至 Q P = 下			無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、		労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定める			・P2A ※ A-2 厚さ0.15mm以上
5 建具改修工事 ●			自動原機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、 移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、		ところによるほか、次による。 (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料			・ A − 3 またはフラットヤーンクロス 70g/㎡程度
6 内装改修工事 ●			屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、		を管理技術者(監理)に提出する。			· P1B
			床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、 重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鋳鉄製ふた		(2)放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。			・ A I - 1 (種類) ※JIS A 9521に基づく押出 ※フラットヤーンウロス ・ P 2 A I ※ A I - 2 法ボッルストンフォール断熱材3種bA(スネン層付) 70g/㎡程度
7 塗装改修工事 ●			(6) 防水工事の保証期間		(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。			· A I - 3 (厚さ) · 25mm · 50mm
8 耐震改修工事			かし担保期間に限らず、以下の保証期間中に施工上の過失等により雨漏り事故が生じた場合は、 無償にて補償復旧をすること。		(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 (5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。			P 1 B I
耐震改修範囲以外の躯体改修工事			防水の種類 保証期間 (工事目的物引渡し日以降) アスファルト系防水		撮影枚数 枚			た際ファラールトル ラ ハンガン 1 の理解及が原土
9 環境配慮改修工事			テスノアルト末的ホ 合成高分子系ルーフィングシート防水 10年間		フィルムサイズ コンクリート厚さ cm			改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標仕 表3.3.3から表3.5.9による
□ 3			塗膜防水 ケイ酸質系塗布防水	(4) 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、管理技術者(監理)の承諾を受ける。			・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・/
			- 1 版製水主 1 版					材料による区分 ※R種
6. 工事完成期限及び引き渡し期限		技能士	[1.6.2]	15 股計GL	※ 図示 ・ 設計 G L = 現状 G L			厚さ ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
(1) 工事完成期限			適用工事種目 技能検定作業	16色、柄などの指示	・色柄などは、施設管理者の承諾を受けて、管理技術者(監理)が指示する。			※改修標仕 表3.3/3から表3.3.9による
原則、工事工期末日の14日前までとする。 なお、工事完成期限とは、官公庁等の検査が完了し、発注者が工事完成した旨の通知を受領した日とする。			防水改修工事 ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業	① 完成写真	撮影個所 ・外部 箇所 ・内部 箇所			- JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分
(2) 引き渡し期限			・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業		機 彩 カラー 原版35mm以上 又は 428万画素以上のデジタルカメラ			材料による区分 ※R種
工事工期末日とする。 (3) 指定完成			・ シーリング防水工事作業・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業		提出形態 A 4 版写真用光沢紙(紙厚0.26mm以上)に、350dpi以上で作成する。 提出部数 ※2 部 ・ 部			厚さ (/)mm以上 平場の保護/コンクリートの厚さ
上記 (1) 及び (2) と同様とする。			・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業		提出先 ※機構本部(検査員) 1部 ※工事場所施設(施設管理者) 1部			こて仕上げ ※水下 80mm以上・
Ⅱ 建築改修工事仕様			· 左官作業 · 内外装板金作業		作成要領 付帯工事の場合は、主たる工事が取りまとめる。なお、提出部数は主たる工事による。 完成写真と工事着手前の写真を対比させて作成する。			床タイル張り ※水下 60mm以上・
 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、〇を付けたもの 			外壁改修工事		撮影個所については、事前に管理技術者(監理)の承諾を受ける。]		立上り部の保護工法 ・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)
を適用する。			・自動ドア施工作業	2 ①騒音・粉じん等の対策				窯業系パネルI類(厚さ (mm) 幅 (mm))
○公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) (以下、「改修標仕」という。)○公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) (以下、「標仕」という。)			内装改修工事 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業	仮	防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・図 示			/ ・れんが押え (※JIS R 1250 ・) ・コンクリート押え
○建築工事標準詳細図(令和4年版) (以下、「標準詳細図」という。)			○ ボード仕上げ工事作業 ○ 銅製下地工事作業	設 工 2 足場等 車	[2.2.1] [表2.2.1]		,	・モルタル押え(屋内)
・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) (2) 本工事に電気設備工事及び機械設備工事が含まれる場合、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの特記仕様書を適用す			● 壁装作業 ・ 大工工事作業 ・ タイル張り作業 ・ 全装改修工事 ・ 全装改修工事 ・ 全装登装作業	事	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの 別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式		/	
る 。			耐震改修工事 ・ 鉄筋組立て作業 ・ 型枠工事作業 ・ とび作業		又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。		/	
(3) 改修標準仕株書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係 法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について管理技術者(監理)と協議すること。			コンクリートブロック - コンクリートブロック工事作業 ALCパネル工事 - エーエルシーパネル工事作業		- 内部足場 ・設置する (※脚立、足場板等) ・設置しない - 外部足場 ・ 設置する (※枠組本足場) ・設置しない		/	
2. 特記仕様書の表記			石工事 ・ 石張り作業		・防護シート ・設置する ・設置しない		/	
(1)項目は、番号□○印の付いたものを適用する。(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。			植栽工事 - 造園工事作業		材料、撤去材等の運搬 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)		/	
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。(・印のみの場合は適用しない。)					C種:利用可能なエレベーター (・ 図示 ・)		/	
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。(3)特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。				③ 既存部分の養生	D種:利用可能な階段 (・ 図示 ・) [2.3.1]			
(4)特記事項に記載の() 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ⑤印は特定調達品目を示す。これらを調達する場合は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン					1) 養生の方法等			
(5) 回内は特定制造品日とかす。これらと制建りも場合は「個句による以及状物的句の制度の推進に関する基本方針」に定める判断の基準等を満たすものとする。					・ 既存家具、既存設備等 養生の方法 (※ ビニルシート等 ・)		/	
なお、特定調達品目か否かの判断基準は現場説明書による。					● 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (・ ビニルシート等 ・)保管場所 (・ 図示 ・)	1 /	/	
					・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 (・ 図示 ・)	/		工事名称 図面 NO. 2
					2) 既存部分に汚染又は損傷を与える恐れのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた 場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	<u> </u>		三国公共職業安定所外壁·內壁修繕工事 13
								図 名 建築改修工事特記仕様書(その1)
								縮尺 / N.S / 年 月 日
								K N R 一級建築士事務所 加事登録 N o. い−1115 一級建築士 No.167899 木村憲一 木村憲一
								# # 木村建築事務所 KINURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LID
								事務所:福井県福井市大手2丁目20-15 CH DR



		/					1		
4-3	1 既存タイル張りの 撤去	- 外壁タイル張り全面 · 図示の範囲 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで · 張付けモルタルまで		有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理	4 防犯建物部品	・適用する() 適用箇所(・建具表による・) [5.1.7] ・適用しない /		形状及び仕上げ 銅板類の厚さ ※改修標仕表5.5.1による	
外辟	IM A	原本範囲 水 「地 こルクルな こ 一 旅行 こルクルな こ		・目荒し工法 (改修標仕4.3.10 (3) による)		MIT CAV.		· mm 使用箇所 ()	
菱	2 タイルの形状、	[4. 4. 5./8]		シーリング材の種類				標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による・	
修工	寸法等	施工箇所 形状寸法 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 備考		打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系・	5 アルミニウム製建具	性能值等 [5.2.2~5][表 5.2.2]	40 3-11 34345	######################################	
事		加工圏所 (mm) I類 I類 II類 II類 II級 II級 II級 II級 II級 II級 I		伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特配仕様書3章 防水改修工事による		耐風圧性の等級 (・) (建具符号 ・ 建具表による ・)	10 ステンレス製建具	性能値等 [5.2.2] [5.4.2] [5.6/2~5] 簡易気密型ドアセット ・適用する	
9		 		7 77 77 CONDITION OF THE CAP WITH CONDITION OF THE CONDIT		気密性の等級(・))		(建具符号:・建具表による・・)	
1			6 目地改修工法	- 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、16]		(建具符号 ・建具表による ・)		適用しない	
張				・ 伸縮調整目地改修工法		水密性の等級 (・)		外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ()	
1 4		標準的な曲がりの役物は一体成形とする		申縮調整目地の位置及び寸法 図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による		(建具符号 ・ 建具表による ・) 外部に面する建具の種別		(建具符号 ・建具表による ・) / 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()	
上		試験張り ・行う (施工箇所:) ・行わない	Ĺ	> >> 100 (種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所		(建具符号 ・建具表による ・)	
外外		見本焼き ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない 4-4	1 ① 材料	工程ごとの所要量の確認 ※改修標仕 表4.5.1による ・ [4.5.2] [表4.5.1]		· A種 S-4		断熱ドア、断熱サッシG 断熱性の等級()	
壁	3 ひび割れ部改修工法	対	② 既存塗膜等の除去	[4. 5. 4]		・B種 S-5 " 100 ※図示 ・C種 S-6 A-4 W-5 ・ ※図示		(建具符号 ・ 建具表による /) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	
	3 ひび割れ即以除工法	- 既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) 健	下地処理及び下地	エ 法 処理範囲 下地面の補修		1 C/dg 3-0 N-4 H-3 1 XXBI/N		耐酸は配 建来升特温即行の耐酸は配に尿る行乱手項による 材料	
			調整	・サンダー工法 ※既存仕上げ面全体		防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()		ステンレス銅板	
		- 樹脂注入工法 <u>事</u>		· 図示 改修工法		(建具符号 ・建具表による ・)		### #################################	
1		工法の種類		・浮き部 ○ 高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 改修工法		断熱ドア、断熱サッシG 断熱性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による ・)		ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ	
		※ 自動式低圧エポキシ 0.2以上1.0 未満 ※ 200~300 ・ / ・ 130 ・ 塑 り		加圧力 ※30MPa程度以上 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする) ・ 「欠損部		(建会付与 ・建会衣による ・ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		表面仕上げ ※HL・鏡面仕上げ	
1		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>・図示 ・図示</td><td></td><td>ステンレス鋼板</td><td></td><td>工法</td></td>	<td></td> <td>・図示 ・図示</td> <td></td> <td>ステンレス鋼板</td> <td></td> <td>工法</td>		・図示 ・図示		ステンレス鋼板		工法
		注入工法 0.3以上0.5 未満 ・100~200 / ・ 70 ・			・ 塗膜はく離剤工法 ※既存仕上げ面全体		※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI •		ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
		- 機械式エポキシ樹脂 0.5以上1.0以下 ・150~250 / ・ 130 ・ 野 注入工法		・ 図示・ 水洗い工法 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤		ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ	11 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種・ [5.7.2~4]	
				工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体		表面処理		建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量	
		注入状況の確認方法		- 図示		外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 (改修標仕/表5.2.2)		%F☆☆☆ · /	
		コア接取り ※ 行う ・ 行わない	③ 下地調整塗材	※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.5.2]		着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 (改修標仕 表5.2.2)		・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等	
		抜取り部の補修方法 ※図示 ・	O I COMPERN	A POWER TO THE PROPERTY OF THE		着色 ・標準色 ・特注色		※改修標仕5.7.2(4)(a)による	
			④ 仕上げ塗材仕上げ	新規仕上塗材の種類 [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]		結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式		表面材の合板の種類	
	4 欠損部改修工法	- タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8] 接着剤の種類		種類 呼び名 防火 対料 仕上げの形状及び工法等		工法 ************************************		合板の種類 規格等 備考	
		接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系		材料 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		水切り板、ぜん板 ※図示・		・普通合板 G 表面の樹種 ・	
				・ 可とう形外装薄塗材Si ・ ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)	6 網戸等	[5. 2. 3] [5. 3. 3]		板面の品質 (※広葉樹1等・・)	
		・タイル張替え工法		・ 外装薄塗材E ・ さざ波状		種類 材種 総径 網目		接着の程度 (・1類 /・2類)	
		張替え用材料 ・外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系		- 可とう形外装薄塗材E - 平たん状 - 凹凸状 (・吹付け・こて塗り)		・防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・		・天然木化粧合板 [G] 樹種名 () 接着の程度 (・1類 / ・2類)	
		・		・ 防水形が表演学材と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・カラ人機権人 9 音及 例		- 特殊加工化粧合板 G 化粧加工の程度	
		伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置		 砂壁状じゅらく 		- 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm		*プリント	
		※改修標仕 表4.4.2による ・図示 / ***********************************		・京壁状じゅらく	7 444 05-441 14-12	析化库 역		・ポリエステル化粧合板	
		外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない		・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・外装厚塗材Si ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	7 樹脂製建具	性能値等 [5.3.2~5][表5.3.1~2] 耐風圧性の等級 (・) 気密性の等級 (・		· メラミン化粧合板 ・	
		・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り		・外装厚塗材を ・上塗材 ・適用する ・適用しない		水密性の等級 (・) /		接着の程度 (・1類 ・2類)	
1		下地モルタル塗りを行うコンクリート無地面の処理		・ 複層塗材 C E ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし		外部に面する建具の種別		· MDF G	
		・目荒し工法(改修標仕4.3.10 (3) による) ・		・ ウェラ形複層塗材 C E ・ ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様		種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所		==KCの原文 ※お体標はまこうとによる	
1		タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り		- 複層塗材 S i → 耐候性 ※ 耐候形 3種 ・ 上塗材		· R類 S-5 A-4 / · ※図示		表面板の厚さ ※改修標仕表5.7.6/こよる ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する	
		ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り		・ 複層塗材RE ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系		· C種 S-6 / W-5 · ※図示		・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 ()	
		シーリング: 改修特記仕様書/3章 防水改修工事による		・防水形複層塗材CE ・樹脂 ※ アクリル系・				見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による ・	
		・有機系接着剤によるタイル(ゼラミックタイル)張り		・ 防水形複層塗材 E ・ 外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ 防水形複層塗材 R E ・ メタリック		防音ドア、防音サッシ / 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号 ・建具表による ・)		・ふすま 張りの種別 (/ I 型 ・ I 型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度	
- 1		モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理		・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状		断熱ドア、断熱サッシG		緑仕上げ	
		・目荒し工法 (改修標任4.3.10 (3) による) ・		用仕上塗材 可とう形改修塗材E ・ 耐候性 ※ 耐候形3種・		(建具符号 ・建具表による ・)		見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・	
		シーリング材の種類		溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系		外部に面する建具の日射熱取得性の等級・		・戸ぶすま 表面材の仕上げ ・建具表による	
-		打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系		- 可どう形以修坐材 K E ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ つやなし		枠の見込み寸法・・・ 		見込みず法 ※30mm 建具表による ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
		シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による		・可とう形改修塗材CE ・ メタリック		ガラス ※複層ガラス・		枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・	
-						ステンレス製のくつずりの仕上げ ※IL・			
1	5 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.4.5、9~15] [4.5.9~15] 7ンホービンの本数 注入口の箇所数 コココ	5 マスチック塗材塗り	種別 · A種 · B種 [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]		形状及び仕上げ / 表面色 / ※標準色 ・特注色	12 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※改修標仕 表5.8.1により適用は建具表による [5.8.1~3] 金属製建具に使用す/る丁番の枚数及び大きさ ※改修標仕 表5.8.2による	
1		/工法の種類 (本/m²) (歯雨/m²) ^{注入重}	0 (スプラン至何至り	1±// A1± D1±		工法		・建具表による	
1		一般部 指定部 (m1/箇所)	6 外壁用塗膜防水塗り	仕上げの形状・ [4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]		水切り板、ぜん板 ※図示		樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標仕 表5.8.3による	
1		・アンカーピルニング部分		工法 仕上塗料の耐候性	8 銅製建具	性能値等 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]		・ 建具表による ・ 建具表による ・ 建具表による ・ 建具表による	
1		- アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25		下地挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない	0 網数延兵	簡易気密型ドアセット ・適用する		推り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 建具表による・	
1		エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・		コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事		(建具符号:・建具表による・・))		錠前類 シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠(品質・性能、試験方法は別表による)	
1		・アンガーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 ボリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・		(コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修)による。		・適用しない		クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)	
1		- ボリダーセメントスラリー注入工法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。		外部に 価する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号 ・建具表による ・)	13 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる [5.8.4]	
1		エポキシ樹脂注入工法		吹付け工法の模様材の種類 ・ (・所要量 (kg/m²))		防育ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()		その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き)	
		・注入口付アンカーピンニング全面 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25		外壁用仕上塗料の種類 · (・所要量 (kg/m²))		(建具符号 ・建具表による ・)		鍵箱 ※無 · 有	
1		エポキシ樹脂注入工法		既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗り仕上げ外壁等改修)による。		断熱ドア、断熱サッシ回 断熱性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による ・)	14 自動ドア開閉装置	/ 戸の開閉方式 ・建具表による [5.9.2、3]	
		ポリマーセメントスラリー注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		· 引き戸用駆動装置	
		・注入口付アンカーピンニング ・ ・ ※ 25 5	1 改修工法	[5.1/8]		材料			
	,	✓ エポキシ樹脂注入タイル固定工法		建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		/ ステンレス銅板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・		・以下による 種類・開閉方式 ()	
	/	- ライルボリ替え工法 改		対別を主义なるを表現します。	/	ステンレス製のくつずりの仕上げ ※IL	/	耐電圧 ()	
	/	アンカービンの材質		- 銅製建具 - 外部 - 建具表による -	/	形状及び仕上げ	/	温度上昇()	
	/	※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの事		・ 内部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/	鋼板類の厚さ ※改修標仕表5.4.2による ・ mm 使用箇所()	/	耐久性 (サイクル) () 防錆 ()	
	/	注入口付アンカーピンの材質		・ ステンレス製建具 ・・・ 建具表による・・	/	標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による	/	電源()	
	/	※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度		・木製建具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	/		/	・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置	
	/	・タイル部分張替え工法		新規に建具を設ける場合	9 銅製軽量建具	性能値等 [5.2.2][5.5.2~4] 簡易気密型ドアセット ・適用する		性能値 ※改修標仕表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による	
	/	・ ダイル部が張音え上法接着剤の種類		財務に建具を放ける場合 ※図示・	/	間易丸密型トアセット ・適用する (建具符号:・建具表による)	/	・以下による	
1	/	・ポリマーセメントモルタル		新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示・	/	・適用しない	/	温度上昇 ()	
1	/	- JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 - タイル張替え工法		建具周囲のシーリングは、改修特紀仕様書3章、防水改修工事による。	/	防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 ・建具表による ・)	/	耐久性 (サイクル) () 防鎖 ()	
1	/	・ タイル俄替え工法 最替え用材料	2 防火戸	・適用する 適用箇所 /・建具表による ·) [5.1.4]	/	(延具符号 ・	/	防鋼 () 電源 ()	
	/	・外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系		・適用しない	/	(建具符号 ・建具表による ・)		・引き戸用検出装置	
1	/	・張付けモルタル (・現場調合材料 ・既製調合モルタル) 体統領際日地 575775割り ほ発日地の位置		防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との運動	/	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	/	性能値 ※改修標仕表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による	
	/	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標仕 表4.5.1による ・図示		・連動をせる 適用箇所 (・建具表による ・) 連動させない	/	材料		・以下による 耐電圧 ()	
	/	外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない			/	鋼板	/	防銷 ()	
	1/	・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り	3 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具符号:) [5.1.5]	/	・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板	/	防滴 ()	
	Y	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法(改修標仕4.3.10(3)による)	/	・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する	Y	・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板	/	電源()	
1 /	/	タイル張りの工法		・納まり等がわかる程度のもの	/	メテンレス調報 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI	/		
/		外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り	/	特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:)	/	ステンレス製のくつずりの仕上げ ※出 ・	/	工事名称	
		ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り シーリング: 改修特記仕様書3章 防水改修工事による		行わない		•	/	工事名称 図面NO. 4 13	
V_{-}		ノ ノノソ・ 以移行品は体管の単 - 別小以際工事による		<u> </u>			<u>V </u>	,	
								図 名 建築改修工事特記仕様書(その3)	
1								縮尺 / N. S / 年 月 日	
1								KMR 一級建築士事務所 知事登録 No. い-115 一級建築士 No.167899	
1								★ 株式会社 木村建築事務所 木村憲一	
								KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD	
								事務所:福井県福井市大手2丁目20-15 CH DR	

15 自閉式上吊り引戸 装置	性能値 ※改修標仕表5.10.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) [5.10.3] ・以下による		ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (997)		- 「集成材の日本展林規格」以外の化粧ばり造作用集成材	12 内部間仕切軸組及び 床組	- 間仕切輪組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6] ※杉又は松
-2X ED.	手動開き力 () チ動閉じ力 ()		・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による アルミニウム製 ・グレイジングチャンネル ・図示		施工箇所 梯種 (mm) の厚さ (mm) 直の品質 合水率 の適用 (地能薄板: ※1596以下	JA-MEL	ホルスルがは 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松
	開じ速度の調整 () 制御区間 ()		・シーリング材 ※建興の製造所の仕様による			13 窓、出入口その他	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
	開閉線り返し () 耐衝衝撃性 ()		鋼製及び鋼製軽量・図示	7 造作用単板積層材 G	- JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2] サンドマ ウ法 カー・ファ 防虫処理 間伐材等		※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ・
16 重量シャッター	y5.11.2、3]		・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・ 図示		施工箇所 品名 (mm) 表面の品質 の適用 の適用 ・適用する	(14) 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2~4]
10 主張ンドラク	シャッターの種類 外壁閉口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 (pa) ・管理用シャッター 耐風圧強度 () Pa		· ·		- 適用しない	19 程重級有人升下為	屋外(※ 25 形 ・ 19 形) 屋内(※ 19 形 ・ 25 形) 屋外の形式及び 寸法
	・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () Pa		・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による の図示		- JAS 0701以外の造作用単板積層材		野緑受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
	- 屋内用防火シャッター - 防煙シャッター				方法 方法 方法 方法 方法 方法 方法 方法		周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野緑の間隔 ・図示 ・
	開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 安全装置	20ガラス用フィルム	程類 記号 その他性能等		※14%以下		既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施エアンカーの確認試験 ・行う
	電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 建具表による)				- JAS 3079に基づく直交集成板		試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・ () 箇所
	電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による ・)		・低放射フィルム ・LE ・衝撃破壊対応ガラス飛散 ・GI-1		施工箇所 品名 曲げ性能 接着性能 接着性能 付法 間伐材等 (強度等級) での適用		引張試験にて確認する強度 ※つりポルト受け等の間隔が900m程度以下かつ天井面積構成部材等の
	屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危険防止装置 (設置箇所 ・建具表による)		防止フィルム ・6D-1 ・6D-1 ・6D-1				単位面積あたりの質量が20kg/ポ以内の天井の場合は400N程度 - ()N
	管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない		飛散防止フィルム ・ ガラス貫通防止フィルム ・ SF	8 合板等	 「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2] 		・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
	鋼板の種類 - JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) - JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	4	品質 JIS A 5759による		施工箇所 厚さ 単板 接着 板面の品質 防虫処理 間伐材等 (mm) の樹種名 の程度 板面の品質 の適用 の適用		補強方法 ※図示 ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
	めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ	6 ① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示		※5.5 ※1類 広葉樹 ・2類 ※2等以上・1等 適用しない		補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(8)(7).(4)による ・天井のふところが3.0mを超える場合
	ボックス類のふたの材質 ステンレス銅板	装改	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示		針葉樹 ※C-D以上		補強方法 ※図示 ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強
	%SUS304、SUS430JIL、又は\$US443JI	修工	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示				補強箇所 ※図示 ・ 補強方法 ※図示 ・
17 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) [5.12.2~4] 耐風圧強度 () Pa	2 既存床の撤去及び	ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) [6.2.2]		・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G B 関係	15 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3.4] [表6.7.1]
	安全装置 電動シャッターの障害物感知装置	下地補修	・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法		施工箇所 厚さ 単板の 接着 板面の品質 助虫処理 効連用 効連用 の適用 小さ の適用 小さ の適用 小さ 小さ 小さ 小さ 小さ 小さ 小さ 小		※改修標仕表 6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示
	(設置箇所 ・ 建具表による ・) スラットの材質の種類		改修後の床の清掃範囲 ※ 室内の改修箇所・		- 1級 ・特類 ・ 適用しない () ・ 適用しない		出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※標仕6.7.4(5)による ・
	- JIS 6 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び鋼帯) めっき付着量 (※206又はF06 ・ /)	③ 既存壁の撤去及び 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標仕 4.3.10によるモルタル塗り		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]	16 ビニル床シート G	[6.8.2,3] 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考
	・JIS G 3322 (塗装溶融55% アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90 ・) /		(全塗厚25mmを超える場合の処置 ※図示)		施工箇所 厚さ 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等 の適用 の適用		※FS(複層ビニル床シート) ・無地 ※ 2.0 ・ ₹-プル柄 ・
	スラットの形状 ・インターロッキング形 オーバーラッピング形	④ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆または改修標仕6.5.2(1)(f)(b)による		・特類 ・1類 ・適用する ・適用しない		横合部の処理 ※熱溶接工法
18 オーバーヘッドドア	(5. 13. 2、3] セクション材料 風圧力による 開閉方式 収納形式 ガイドレール	5 製材 G	- JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]			17 ビニル床タイル G	[6.8.2]
	による区分 強さの区分 による区分 の材質 (Pa)		が法 等級 含水率 保存 間伐材等 (mm) 等級 含水率 処理 の適用		・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] 厚さ 化粧板に使用する はなってがま 防虫処理		種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) 備考 ※KT (コンポジションビニル床タイル)・無地 ・300×300 ※ 2.0
	※スチールタイプ ・50 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・/75 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき網板		※2級 ※A種 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		施工箇所 (nm) 単板の樹種名 接着の程度 の適用 ・適用する		・柄物 - 450×450 · 3.0
	- ファイパーグラスタイプ / 100 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・パープカル形				- 1類 ・ 2類 ()		・TT(単層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・2.0 ・柄物 ・450×450 ・
	電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)		- BEE .		・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]		- FT (複層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・ 2.0
19 ガラス	適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは [3.7] [5.14.2~4]		- JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく進作用製材		施工箇所 厚さ (mm) 表面性能 単坂の樹種名 接着の程度 の適用		・ 柄物 ・ 450 × 450 ・ 2.5 ・ 3.0
	建具表及区図面による。 ・フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・図示		す法 等級 含水率 保存 間伐材等 加速 の適用		- 1類 - 適用する - 2類		FOA (床敷きビニル床タイル) ・無地 ・500×500 ・4.0 ・ 柄物 ・
	・型板ガラスの厚さたよる種類 ※維具表による ・図示・網入板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類		見え掛り面 ※ 上小節 ※A種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				・F0B (薄型置敷きビニル床タイル) ・無地 ・柄物
	※建具表による・図示・合わせガラス				・パーティクルポード G pc 表裏面の状態 曲げ強さ 耐水性 難燃性	18 特殊機能床	[6.8.2]
	材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合 わせガラスの合計厚さ、特性による種類 形状 ショットパック衝撃特性		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		施工箇所 (mm) による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 (ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・	1 O THE PROPERTY.	種類 厚さ 寸法、形状 性能 種類 ・帯電防止床シート (nm)
	による種類 ※建具表 ・図示 ・平面合わせガラス ・1類 ・Ⅱ-1類		- JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広業樹製材				・帯電防止床タイル × (mm) ・視覚障害者用タイル (mm)
	・曲面合わせガラス · Ⅱ-2類 · Ⅲ類		が上 特級 含水率 保存 間伐材等 (mm) 等級 含水率 処理 の適用		- JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm)		・耐動荷里性床シート (mm) ・防滑性床シート (mm)
	・強化ガラス 形状による種類 破片の状態及び		※ 1等 ※10%以下 · A種 ·				・防滑性床タイル × (mm) 視覚障害者用床タイル 突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による
	材料板ガラスの種類による名称 ショットバック衝撃特性による種類 ※雑具表 ・図示 ・1類 ・皿類		B種		·MDF [G	19 ビニル幅木	
	・熱線吸収板ガラス		- A程		施工箇所 厚さ 表裏面の状態に 曲げ強さによる 接着材に 難燃性による		高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 ・
	板ガラスの種類及び厚さ 性能による種類 による種類		- JAS 1083 (製材) 以外の製材			20 ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]
,	*		方法 方法	9 接合具等			(
	・ 復層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの 断熱性 日射取得性、 カルフェンスで		() ・適用する ※A種 適作材の場合 ・適用しない ・B種		※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物		寸法(mm) (×)
	組合せ並びに複層がラスの厚さ による区分 日射遮蔽性 による区分		(※ A種 ・ B種)		※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)	21 カーペット敷き G	- 織じゅうたん [6.9.2, 3] [表6.9.1] 種別 パイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考
/	- T1 - T2 - Y2 + G - Y2 + CG - Y2	6 造作用集成材 G	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]		- (形状: 寸法: 材質:)		- A種 ・カットパイル ・ウィルトンカーペット ・無地 ・適用する ・B種 ・ルーフパイル ・ヴィブ・カフェースカーペット ・柄物 (性能: ※人体帯電圧
	・T5・T6 ・S ・アルゴン		施工箇所 品名 樹種 (mm) 見付け材面の等級 の適用 ※1等 ・2等 ・	10接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆ • [6.5.3、4]		・C種 ・カット、ルーブ併用 ・アキスミンスター カーベット (標準品) 3kv以下・) ・適用しない
	・熱線反射ガラス 日射熱遮蔽性 耐久性(日射熱			11 防腐・防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5] 適用部材 保存処理性能区分		
	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 による区分 遮蔽性が2種の場合) による区分 による区分		- 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 寸法 化粧薄板 見付け材 見付け材 間伐材等		· K2 · K3 · K4		織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
	※建具表 · 図示 1種 · 2種 · 3種 - A種 - B種		(mm) の厚さ (mm) 面数 面の品質 の適用 (松韶薄板: ※1等 ・				・タフテッドカーペット
	・倍強度ガラス		芯材: - 2等 -		・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類		パイル形状 パ (A長さ (mm)) 工法 帯電性 備考 カットパイル ・5~7・ ※全面接着工法 適用する
	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表 ・図示		芯材: · 2等 · _		※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品		- ルーフパイル - 4~6 - ケ゚リッパ- 工法 (性能: ※人体帯電圧 3kv以下 ・)
			- 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面の品質 含水率 間伐材等				・適用しない 下敷き材(グリッパー工法の場合)
/			施工箇所 樹種 (mm) 見付け材面の品質 含水率 の適用 ※15%以下・・・・		・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理 適用部位()		※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
/			※15%以下・・・・		・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()		※F☆☆☆☆ 工事名称 図面NO. 5 /
′							三国公共職業安定所外壁·内壁修繕工事 13 図 名
							建築改修工事特記仕様書(その4) ### A-U4 ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##
							KMR 一級建築士事務所 知事登録 No. いー115 一級建築士 No.167899
							KINURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD
							事務所:福井県福井市大手2丁目20-15 CH DR

※ルーブバイル ※第一種 ・カットバイル ・第一種 ・カット・ループ併用 ・第一種	*500×500	バーティクルボード [G] 種類 厚さ (mm)、規格等 単植張りパーティクルボード 無研磨板 (VN) 研磨板 (VS) ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		- 有機系検査剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 (mn) I別	37 ブラインド	・既存再使用する (養生方法:) [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (20.2.14) 形 式 操作方法 操作方法の種類 スラットの種類 スラットの種類 の材質 取付箇所 取付箇所 取付箇所 取付箇所 の材質 取付箇所 取付箇所 ・ 操作棒式 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
見切り、押え金物 ・適用する(材質 ・適用しない	場 ※市松敷き ・模様流し ・ 分 ※模様流し ・市松敷き ・ 、形状等 ※図示 ・)	吸音材料 種類 「厚さ (mm)、規格等 ・ フラットタイプ(・ 9 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ(・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ(・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・) ・ ロックウール吸音ボード 1号 ・ グラスウール吸音ボード 32K ・ 25 (ガ 5スクロス包)・	29 セルフレベリング材 塗り 30 フリーアクセスフロア	(20.2.2) 施工箇所 構法 寸法 高さ 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備 考		・縦型 ・手動 ※2本操作コ・ド ・78ミスラット ・80 ※78ミラル合金製 ・図示 ・ 1本操作コ・ド ・ クロススラット ・100 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2 2 合成樹脂塗床 - 「種別 施工箇所 - 「厚級型塗床材 (弾性かり樹脂系塗床) - 「厚級型塗床材 (14 * 1 * 4 樹脂系塗床) - 「薄級型塗床材	[6, 10, 2, 3] エ法 仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ ・薄製流し展べ工法 ・防滞仕上げ ・防滞仕上げ ・開製流し展べ工法 ・防滞仕上げ ・防滞仕上げ ・防滞仕上げ ・防滞仕上げ	世っこうボード製品 種類 厚さ (mm)、規格等 ① せっこうボード (GB-R) ※ 12.5 (不燃) ・15 (不燃) ① 9.5 ・ 不燃積層せっこうボード 9.5 (不燃)・化粧無 (下地張り用) (GB-NC) ・ 化粧有 (トラバーチン模様) ・ シージングせっこうボード 12.5 (※不燃 ・準不燃) (GB-S) ・ 強化せっこうボード (GB-F) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)		・ 匿数式 ・ 500×500 ・ 1.0G ・ 3.000N ・ 希電防止床メイル ・ 支柱・ ・ 0.6G ・ 5.000N ・ タイルカーペット ・ 匿数式 ・ 500×500 ・ 1.0G ・ 3.000N ・ 希電防止床メイル ・ 支柱・ ・ 0.6G ・ 5.000N ・ 今/ルカーペット 可注射度 ・ 0.6G ・ 5.000N ・ タイルカーペット	38 ロールスクリーン	・既存再使用する (養生方法:) [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (20.2.15) 操作方法 スクリーンの材種 その他の材料 幅・高さ取付箇所 ・スプリング式 ・ガラス維維製・合成、天然機維製 ※製造所の仕様・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(14・粉樹脂素産床) - 779ル樹脂塗床 (防塵塗料塗) ・ 23 フローリング張り (14・粉樹脂塗除 (防塵塗料塗) ・ 23 フローリングのホルムアルデヒド放散量 ・ 70 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	※製造所の指定による 表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性	・せっこうラスボード (GB-L) 9.5 ・化粧せっこうポード (GB-D) ・木目12.5 (不燃)幅 440mm 程度 模様 (・柾目 ・板目) 専用下地材有り ・トラバーチン模様 9.5 (準不燃) 合板 [G] 種類 厚さ (mm)、規格等		・以下による バネルの長さの寸法精度 (バネルの平面形状 (角度) の寸法精度 (フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 (帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥0.6以上 ・評価値 (U) ≥1.2以上 逐電防止性能	39 カーテン	 浦防法で定める防炎性能の表示があるもの ボリエステル機権又は植物を原料とする合成機種を使用した製品を使用する場合は ・既存再使用する(養生方法:) [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (20.2.16) 形式 開閉操作 ひたの種類 品質、特殊加工等 箇所 備考
G ※改修標準仕様書6.11.2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデ ※F☆☆☆☆ 単層フローリング (フローリングポー 工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・接着工法	・・ (ヒドの放散量 - ド1等)	・普通合板 表面の材種 生地、透明塗料塗り (※570合板程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな合板程度 ・) ・ 板面の品質 ・ 厚さ(mm) ※図示 - 防虫処理 ・行う ・行わない	3 1 可動間仕切	・漏えい抵抗値 (R) ≥1×10 [®] Ω ・ (品質、性能及び試験方法は別表による) (20.2.3) 構造形式 構成基材の種類 パ ね表面仕上げ (dR/500Hz) 性能		・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・図示 ・ダブル ・引分け ・むも引き ・箱ひだ、片ひだ ・電動 ・ブレーンひだ 生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
様種 ※なら 間代材等の適用 ・適用する ・単層フローリング (フローリングブロ 様種 厚さ (mm) 大きさ 間伐材等の適用 ・適用する	ック1等)	- 天然木化粧合板 化粧板の制種名 - 厚さ(mm) ※図示 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ ま・パーレレ ・ ブルト・ 塗装 表面性能 ・ (タイプ) 厚さ(mm) ※図示 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		スタット・式 (内蔵)	40 カーテンレール	ポリエステル機権又は植物を原料とする合成機権を使用した製品を使用する場合は[G]とする 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上・・・ ・既存再使用する(養生方法:) [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (20.2.16) 材料による区分
- 複合フローリング エ法 - 釘留め工法 (- 根太張り) - 接着工法 様種 ※なら - 種別 - A種 B種 - C種 間伐本等の適用 - 適用する : 接着工法の場合の不陸緩和材 ※会成樹	適用しない		32 移動間仕切	バネル内に取り付ける雑長のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標在16章8節 の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上おを整紙張りとする場合の品質、性能は標仕19章による バネル材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (20.2.4) 操作方法 パネル圧接装置 総厚さ パネル表面材 返音性		 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 ・ 仕上げ ※アルマイト 形状
・オイル ・生地の		会板類の孫付け ※8日種 ・A種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※仕上表による 実付け工法及び目透し工法のエッジの種類 実付け工法のエッジの種類 ・ペペルエッジ ・スクェアエッジ 目透かし工法のエッジの種類 ・ペペルエッジ ・スクェアエッジ 化粧加工の方法 (・オーペーレイ ・ブリント ・塗装 ・)		走行方向 による種別 (mm) 材質 仕上げ (dB/500Hz) - 平行方向移動式 ・手動式 ・ブッシュ式 ・ 銅板 ・焼付塗装 ・ 登紙張り ・ 部分電動式 ・ 部分電動式 ・ 部分電動式 ・ ボネル表面仕上げの壁紙張りの品質 (性能・標仕19率による 連音性能は、JIS A 651212年拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする	4 1 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	※角形 ・ 既存再使用する (養生方法:) [5.1.6] ・ 新設する 溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 村質 ・ 集成村 (仕上げ:) ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
量表及び畳床はホルムアルデヒド、アセ て少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型量(畳表:・C1 - C2) (25) せっこうボードその他 MDF及びパーティクルボードのホルムアル	トアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極め 2.6 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ - [6.14.2、3]		ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・ 図示 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ・	42 天井点検口	標仕表14.2.1による種別 ・BC-1 ・BC-2 ・ 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・ 頻製 (仕上げ:) 村種 寸法 形式 外枠 内枠
のボード張り ※ド☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデード放散量 ※次体標社6.13,2(2)(4)の(a)~(d)の 接着剤のホルムアルデード放散量 ※ド☆☆☆ ・ 木毛セメント板 [G]	いずれか ・ 27 モルタル塗り	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	(3) F1LJ-Z	ハンガーレール及びランナー ※パネルル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び 変形置が使用上支障のないもの (品質・性能は別表による) (20.2.5)	43 床点検口	・ ・600×600 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ ・ 日地タイプ ・ 日本 日
種類 - 硬質 (棚) - 中質 (棚) - 普通 (棚) - 普通 (欄)	厚さ(mm)、規格等 - 15 - 20 - 25	既製目地材・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・設けない 床目地 ・設ける (目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3㎡程度) ・) (種類 ※押し目地) ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25㎜を超える場合の下地処理		接触 ドアエッジ 接類 お状 接類 お状 接類 お状 ボリエステル樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ※製造所の仕様による 標準 ・ボリエステル樹脂系化粧板 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・表面材と同材	4.4 屋内掲示板	・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・
種類・硬質(HF) ・ 普通(NF) - 機構強化セメント板 種類	厚さ(mm)、規格等 ・12 ・15 ・25 ・21 ・ ・30 ・ 厚さ(mm)、規格等	・図示 ・	3 4 手すり	(品質・性能、試験方法は別表による) 材料の種類及び仕上げ (20.2.6) - SUS304 表面処理 ※礼程度 - 鋼製 溶配亜鉛めっき(※標準仕様書 表14.2.2による種別(種)) - アルミニウム 表面処理(※標準仕様書 表14.2.1による種別(種))	45 フェンス	フェンスの種類 ・ ピニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 網管フェンス ・ アルミフェンス ・ アルミフェンス
・ 化粧けい酸カルシウム版	普通ボードO.8FK タイプ2 (無石締) ① 6 - 8 普通ボードO.8FK タイプ2 (無石綿) ・ 6 - 8 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け ・ 「厚さ(mm)、規格等	試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない - セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等		色台等・標準色()・特注色() 手すり短担り部分 材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 備考 (材種:)・35程度 ・35程度 ・45程度 ・45程		高さ ・図示 ・
	- 図示 - 図示 - 厚さ(mm)、規格等 - 素地ハードボード (・未研磨板(RN)) - 研磨板(RS)) - 内装用化粧ハードボード (01)	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既製調合モルタル (品質 性能、試験方法は別表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤 等を予めて場において所定の割合に配合した材料とする。 既刻詞合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による) 壁タイル張りの工法	3 5 鏡	・ 35程度 - 35程度 - 45程度 取付箇所 () 寸法 (mm) ・図示 厚さ (mm) ※5		
テンパートボード (処理) ・ミディアムデンシティ ファイバーボード	「Powerhitatント/ハート (U) 「 厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・素地ハードボード (・未研磨板 (RM) ・研磨板 (RS)) ・外装用化粧ハードボード (DE) 厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 厚さ ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	マライルは700上次 内装タイル ・密第張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	36 タラップ	対質及び仕上げ (20.2.12) - おり ・なし) - 銅製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別(※C種 ・ 種))		
	A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18					工事名称 三国公共職業安定所外壁·内壁修繕工事 図面NO. 6 13 図 名
						建築改修工事特配仕様書(その5)

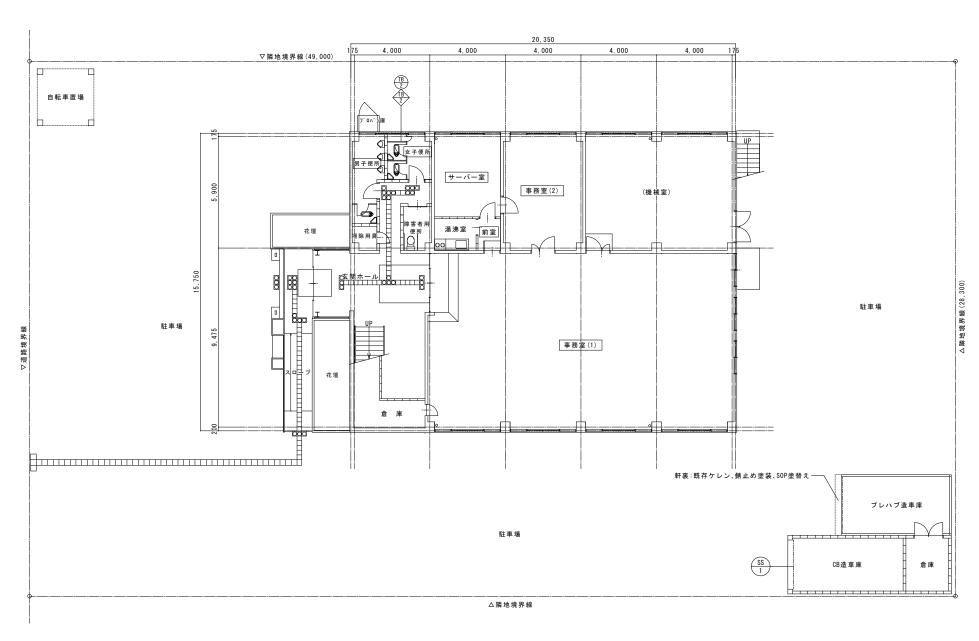
- 0 ++**			4 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			
7 ①材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3] ※F☆☆☆☆ ・		クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない	3 リフラクトリーセラミ ックファイバーの処理		
塗	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。		・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)		除去方法・図示・	
瓷	・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:		ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する		処分 ・埋立処分(安定型最終処分場)・	
■ 修 工 ② 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]		・適用しない	4 PCB含有シーリング		
事	※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示・		オイルステイン塗りの工程等	材処分	種類 探取する部位・箇所数 備 考	
	既存舗止め塗料の鉛含有量調査 ・行う (箇所) ・行わない 下地調整		・製造所の仕様による		分析調査(第一次判定) 箇所数: 箇所	
	下地調整の踊別				・PCB 含有シーリング 部 位 ・図示	
	<u></u> 学育え 8		改修特記仕様書 (その7)(その8) による		分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所	
	木部 ※不透明塗料塗の場合はRB種 — ・				ロドボロトゥジンのDA・ヴ1 図 I ~ グ・ジ	
	鉄銅面 ※RB種 · _ 9	1 石綿粉じん濃度測定	石締粉じん濃度測定 [9.1.1,3~6]	5 断熱・防露	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4]	
	亜鉛めっき銅面 ※RB種・ 環境 亜鉛めっき銅面(銅製建具等) ※RB種・ より		適用 測定6期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) ・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 計 点	改修工事 G	※F女女女女・	
	亜鉛めっき銅面 (銅製建具等) ※RB種・ 塩 モルタル、プラスター面 ※RB種・ ・行う		一・ 湖走 1		関口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	
	・行わない 改 修		・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 ・計 点			
	コンクリート面 (IP以外)、 ※R B種・ ・ ・ 行う ・		・ 測定 4 セキュリティーゾーン入口 ・計 点 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/s以下の位置		工法 断熱材 種類 厚さ (mm) 施工箇所 備考 ・断熱材 JIS A 9521に基づく ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	· R A 種 · 行う		測定 5 (処理作業室外の場合) 計 点		打込み工法 発泡プラスチック断熱材	
	押出成形セメント板面 ・RB種 ・RC種 ・行わない		・ 測定 6 処理作業室外 ・計 点		- 断熱材 - A種1 - ・25 / 図示	
	コンクリート面 (DP) ・RB種 ・RC種 ・行う ・行わない		- 施工区画周辺 - 敷地境界		現場発泡工法 ・A種1H ・30・/・ ・断熱材 JIS A 9521に基づく・・・・/・図示	
	せっこうボード面及びその他ボード面 ※RB種 ・ ―		- 測定 7 処理作業後 処理作業室内 計 点		後張り工法 発泡プラスチック断熱材	
			(シート養生中)		・断熱材後張り工法	
③ 素地ごしらえ	[7. 3. 2~7] 下地面等 種別		測定 8 処理作業後プト 処理作業室内 計 点		・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質・ 厚さ・ (mm)	
	木部 不透明塗料塗の場合 ※A種 ・B種				・張り付け工法	
	透明塗料塗の場合 ※B種 ・A種		測定方法		断熱材の張り付け工法・	
	鉄銅面 (DP以外) ※C種 A種 B種 鉄銅面 (DP) ※B種 A種 C種		- 自動測定器による測定 測定方法		断熱材へのボードの張付け工法 ・	
	数例面(UF) 入り至 内至 亜鉛めっき銅面 ・A種 -B種		・測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、バーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイム	6 屋上緑化改修工事 G	植栽基盤及び材料 [9.4.2~4]	
	モルタル面及びせっこうプラスター面 ※B種 ・A種		・測定5 ファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない	
	コンクリート面 (DP以外) 及びAL C バネル面 ※B種 ・A種		・JIS K 3850-1に基づいた測定		芝及び地被類の種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示	
	コンクリート面(DPのみ) ※B種 A種		測定名称 がンプレンフィルタ 直径 (mm) 試料の吸引流量 (L/min) 試料の吸引時間 (min)		(品質・性能・試験方法は別表による)	
	せっこうボード面及び 目地:継目処理工法 ※A種 ・B種		· 測定4 25 5 30		工法 1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1/3) 倍の風圧力に対応した工法	
	その他が一ド面 目地:維目処理工法以外 ※B種・A種		- 測定5 -		かん水装置 ・設置する (種類・) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない	
④ 錆止め塗料塗り	銷止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]		47 10 120		新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年・	
	素地面 塗装の種類 塗料の種別 工程の種別		・測定 47 10 240	7 本44-77-1-1	適用範囲: 歩道 [9.5.2~5、9]	
	SOP 塗替え A種 ※C種 (工程の種別は標7.4.3) 新規見え掛り A種 ※A種			7 透水性アスファルト 舗装改修工事	適用範囲: 歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 /-	
	新規見え隠れ ・ A種 ・	2 石綿含有建材の処理	・石綿含有吹付け材の除去		路床	
	EP-G 塗替え ※B種 · A種 ※C種 ·		除去対象範囲・図示		路床の材料	
	(工程の種別は標7.4.3) 新規見え掛り ※B種 - A種 ※A種・ 鉄銅面 新規見え隠れ ※B種 - A種 ※B種・		除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 - 固形化		種別 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示	
	DP 7. 4. 2(1) (4) (b) · A種(下地調整RA種)		除去した石綿含有吹付け材等の処分		・建設汚泥から再生した処理土 G	
	(工程の種別は標7.4.4) 塗り替え による ・B種 (下地調整RB種)		・埋立処分(管理型最終処分場)		・凍上抑制層・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・図示	
	- C種 (下地調整RC種) 新規 7.4.2(1)(∤)(a) - A種		- 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)		- 切込み砂利 - 砂 (改修標仕表9.5.1による)	
	による		・石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去		・フィルター層 · 改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による · 図示	
	SOP 塗替え ※A種 ・B種 ※C種 ・		除去対象範囲 ・図示 除去工法 ・破砕して除去 ・手ばらし		(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)	
	規 その他 ※B種・ ※B種・		除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化		・行う・行わない	
	亜鉛 b)っき		除去した石綿含有保温材等の処分		・路床安定処理 ・適用する ・適用しない	
	銅面 (工程の種別は標7.4.5) 新規 銅製建具等 ・C種・ ※A種・ ※B種・		・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)		路床安定処理の方法/・置き換え工法(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	DP		于同处生 (ATMANDOX人16米自16及生形数)		路床安定処理用添加材料	
	(工程の種別は標7.4.6) 新規 · B種 · -		・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去		種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種	
⑤ 塗装	[7. 5. 2~7. 12. 2]		除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成形板の処分		・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 ・	
	生装の種類		・石綿含有せっこうボード		目標CBRを満足する添加量の確認方法	
	変替え 新規		※埋立処分(管理型最終処分場)		・安定処理土のCBR試験・・・・・ジオテキスタイル	
	合成樹脂調合 木部屋外 ※8種・ ※4種・ ペイント塗り(SOP) 木部屋内 ※8種・ ※8種・		・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場)		- シオテキスタイル 単位面積質量 - 60g/m²以上	
	鉄銅面 ※B種 · ※B種 · A種		・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)		厚さ (mm) ・0.5~1.0	
	塗料の種類		・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去		引張強さ 98M/5cm (10kgf/5cm) 以上 - 透水係数 1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上	
	- クリヤラッカー塗り(CL)		除去対象範囲 図示		以及 / State of the	
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種		隔離養生 (負圧不要) 方法 ・ビニールシート等による養生を行う ・		路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない	
	・ 耐候性塗料塗り(DP) 鉄銅面 上塗り等級 (2) 級 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー		足場 ・図示 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分		路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない	
	上塗り等級(2)級		· 埋立処分 (安定型最終処分場)		大価クロム溶出試験 ・行う (現場説明書による) ・行わない	
	コンクリート面及び押出成形セジント板面		- 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) -		路盤材料 (改修標仕表9.5.3による種別) 種類	
	- B-1種 - B-1種 - B-1種 - C-1種 - C-1				· / - · /	
	・つや有合成樹脂 コン/リート面等 ※B種 · ※B種 ・ A種		・石綿含有仕上塗村又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去	/	・ 粒度調整砕石	
	エマルション 屋内の木部 ※B種・ ※A種・ ペイント塗り(EP-G) 屋内の鉄銅面 ※B種・ ※B種・A種		除去対象範囲 ・図示 着工前の試験施工 ※行う ・ 行わない	/	再生材 ・ 粒度調整砕石 G	
	Republish		除去工法	/	・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
	○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)※B種 ※B種 A種		・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法		・粒度調整鉄鋼スラグ G	
	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※8種・ ※8種・A種 ・ステイン塗り ・ピグメントステイン塗り		・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)	/	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G 舗装の構成・図示・	
	・オイルステイン塗り (OS)		・集じん装置付き超高圧水洗工法(10MPa以上)	/	開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	
	・木材保護塗料塗り(MP) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種		・剥離剤併用超音波ケレン工法	/	舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの・	
	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンウリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、		- 剥離剤併用手工具ケレン工法 - 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)	/		
	その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め		· 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)	/		
	※B種又はC種の場合は改修標仕表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする		超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)	/		
	・ 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め		養生方法 ・	/		
	※B種又はC種の場合は改修標仕表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする		· 埋立処分(安定型最終処分場)	/		
	・高日射反射塗料塗り「G		・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	/		
	- 向口が以外坐科学り [G] 下地調整(改修標仕 表7.2.2) - RA種 ※RB種 ・RC種			/		
	工程		石綿含有建材除去後の仕上げ工事	/		
	地域 規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/ml) 屋根用高 ・1級 塗料製造所の仕様による		· 図示 ·)		
	塗料塗り JIS K 5675 日射反射 2種 ・2級			/		
	事塗料 · 3級			/		工事名称 図面NO. 7 /
						三国公共職業安定所外壁‧內壁修繕工事
			<u>I</u>			図 名 整理NO. A_O6
						建築改修工事特記仕様書(その6)
						箱尺 / N, S / 年 月 日
						KMR ー級建築士事務所 知事豊株 No. いー115 ー級建築士 No. 167899 木村憲一
						** 木村建築事務所 KINURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD
						KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所:福井県福井市大手2丁目20-15 CH DR

M +n // · →																
外部仕上表	T			#			+44	nc nc				<i>μ</i>				
場 所	改修前	コンクリート打ち	放し、防水形複層塗材E	仕 上			場	改修前	スチール、SOP塗り			仕	т_			
外 壁	改修後		修 (ひび割れ補修: (幅0.2~1.0mm)自動式低圧コ	Cポキシ樹脂注入工法、(幅1.0m	m以上)Uカットシール充	真工法)	屋外階		既存ケレン、錆止							
			調整、防水形複層塗材E													
外部巾木	改修前	コンクリート打ち					CB造		スチールシャッタ							
	改修後	既存のまま(欠損者	部補修) 					改修後	既存ケレン、錆止	め塗装、SOP塗替え 						
庇・屋外階段裏	改修前	コンクリート打ち	放し、防水形複層塗材E				ブレハラ	改修前 造車庫	正面軒裏に錆							
	改修後	高圧洗浄、既存塗膜	劣化部除去後、防水形複層塗材E					改修後	既存ケレン、錆止	め塗装、SOP塗替え						
開口部	改修前	スチールサッシ	スチールドア スチールガラリ アルミサッシ	,												
ונת ויינו	改修後	既存のまま														
内 部 仕 上 表								<u> </u>								
嗷 虫 々			床	巾木			壁		天	#	廻	19縁	天主	‡高	備	考
室 名	a	女 修 前	改修後	改修前 改作	多後	改修前	改修後	改修	前	改 修 後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後
玄関ホール	モルタル下地 磁器質100角タ	イル貼り	既存のまま	テラゾブロック H=60	モルタル塗り Dまま 外部用吹付タ		既存のまま	コンクリート打放し、複	复層塗材吹付	既存のまま						
事務室(1)	O A フロアー下 タイルカーペッ		既存のまま	ビニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て 梁型:GB-R張り、EP塗り		既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	と 既存のまま	2, 550	既存のまま		
事務室(2)	O A フロアー下 タイルカーペッ	·地 (H=50)	既存のまま	ビニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0拾て 梁型:GB-R張り、EP塗り		既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	と 既存のまま	2, 550 2, 200	既存のまま		
1 サーバー室	モルタル塗り金	ゴテ	既存のまま	ピニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て		既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	と 既存のまま				
前室	モルタル下地		既存のまま	ビニル巾木	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り	リ、EP塗り	既存改修部仕上げ撤去後、	塩ビ製	と 既存のまま	2, 250	既存のまま	天井点検口:アルミ製450×450	天井点検口:アルミ製450×450
湯沸室	25角モザイクタ	1ル貼り	既存のまま	H=60 ビニル巾木	モルタル下地	、75角タイル貼り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り	J、EP塗り	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り 既存のまま	塩ビ制	と 既存のまま	2. 250	既存のまま	既存撤去	既存再取付
	25角モザイクタ	イル貼り		H=60		金ゴテ、EP塗り									照有 1 / 1 可	1 / 1 - 7 ** SD. / 1 - 7 ** **
男子·女子便所 階段室	25角モザイクタ		既存のまま	75角タイル貼り	モルタル下地	、75角タイル貼り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り		既存のまま					既存トイレブース撤去(女子便所)	トイレブース新設(女子便所)
廊下	ビニル床シート O A フロアー下	張り	既存のまま	H=60 ビニル巾木	外部用吹付夕		既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て LGS下地、GB-Rt9.0捨て		既存のまま	塩ビ製	見 既存のまま	2,400	既存のまま		
事務室(3)	タイルカーペッ	ト張り	既存のまま	H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	ア地調整、EP塗り	梁型:GB-R張り、EP塗り梁型:モルタル塗り金=) ゴテ、EP塗り	既存のまま クラック部補修、下地調整、EP塗り	塩ビ製	見 既存のまま	2, 550	既存のまま		
所長室	モルタル塗り金 タイルカーペッ	ト張り	既存のまま モルタル塗り金ゴテ、		木下地、天然	木化粧合板張り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て 梁型:GB-R張り、EP塗り		既存天井材欠損部 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	既存のまま				
2 会議室	モルタル塗り金 ビニル床シート		既存のまま	ビニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、GB-Rt9.0捨て	て張り、DRt12張り	既存のまま	塩ビ製	見 既存のまま	2, 600 2, 250	既存のまま		
更衣室	O A フロアー下 タイルカーペッ		既存のまま	ビニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、GB-Rt9.0捨て		既存のまま	塩ビ製	と 既存のまま	2, 550 2, 200	既存のまま		
休憩室	木下地、タタミ 天然木化粧複合	敷	既存のまま	雑巾摺	モルタル塗り	金ゴテ、砂壁塗料塗り	クラック部補修 下地調整、砂壁塗料塗り	LGS下地、GB-D(杉柾)t	-9.0張り	既存のまま	塩ビ製	と 既存のまま	2, 350	既存のまま		
踏込	モルタル塗り金		既存のまま	ビニル巾木 H=60	モルタル塗り	金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て	に張り、DRt12張り	既存のまま	木製	既存のまま	2, 250	既存のまま		
湯沸室	モルタル下地 25角モザイクタ		既存のまま	ビニル巾木 H=60		、75角タイル貼り 全ゴテ FP涂 N	クラック部補修 下地蜘蛛 FP旅り	LGS下地、FKt6目透張り	リ、EP塗り	既存のまま	塩ビ製	と 既存のまま	2, 250	既存のまま		
資料室	モルタル塗り金	ゴテ	既存のまま	ビニル巾木	コンクリート	金ゴテ、EP塗り 打放し仕上げ	下地調整、EP塗り クラック部補修	木毛セメント板t25打ジ	込み、EP吹付	既存のまま						
# 35 0 70	ビニル床タイル	・張り		H=60	モルタル塗り	金ゴテ仕上げ										
共 通 凡 例 GB-R 石こうボード		CL		火材料認定番号 -R t12.5 不燃 NM-:	2610 NIM 001	特記事項	- 特別かき間 UICC/屋内10㎡ ウベッCで/マ	h レオス								
GB-R 石こつホート GB-D 化粧石こうボー	- K			-R t12.5			t 、特記なき限りLGS (屋内19形 ·室外25形) 下 t 	5 C Y VO 0								
BR 岩綿吸音板	1,	LUS		-R t9.5 準不燃 QM-1			↑属金物一式を込みとする。 - ・☆☆☆☆の材料又は規制対象外建材を使用0)こと、								
FK 左続カルシウ	り ム 板			t12.0 不燃 NM-			☆☆☆☆の材料又は規制対象外延材を使用で		提出のこと、(外壁	・外階段裏の2ヵ所想定)						
SOP 合成樹脂調合ペ				t6 不燃 NM-		4. 支注名にお	、・、、、アエン 如ル 至何 の テ へいへ FB 有 万 イ	, wo 且 c 11 v . 元 任 日 仁 秋 口 舌 ぞ	-	/ i rei 代 収 マ/ L // / / / / / / / / / / / / / / / /						
	、1 ン F 堂 9 		T K	20 -1-WK 14 IAI -		6.										
DP 耐候性塗料塗り						7.										
100 100 110 1															工事名称	図面NO. 8 /
															三国公共職業安定所外	
															図 名 内外部仕上表〔	整理NO. Δ-0.7
ĺ																(X IS FI) 1及 / 年 月 日

一級建築士 No. 16789 木村憲一

K M R 电超离主事图形 知事登録 No. いー110 株式会社 木 村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所:福井県福井南大手2丁目20-15





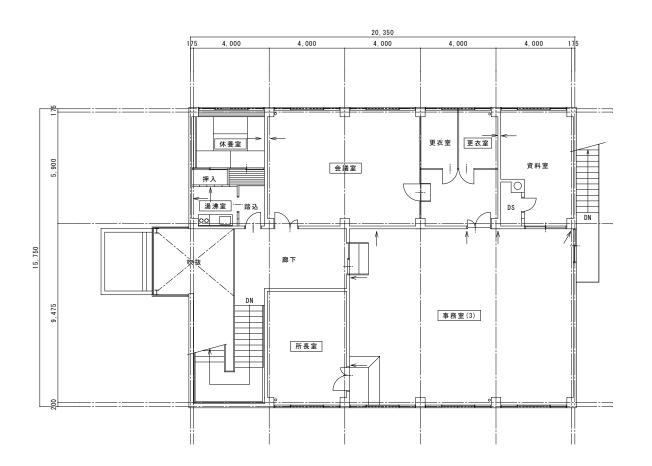


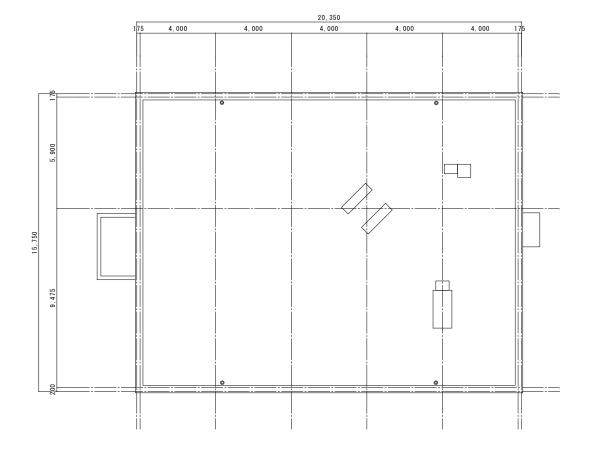
案 内 図

配置図・1階平面図 S=1:100 室 名 改修室を示す

工事名称	図面NC). 9	/
三国公共職業安定所外壁·内壁修繕工事			13
図 名 配置図・1階平面図・案内図	整理NO). A-	-08
縮尺 1 / 100 /	缉	月	В
KMR - 株式会社 木村 建築事務所		築士 No. 木村憲-	
KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所:福井県福井市大手2丁目20-15		СН	DR



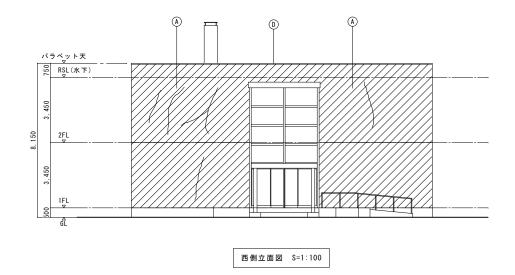


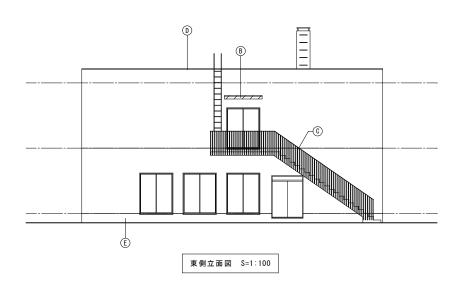


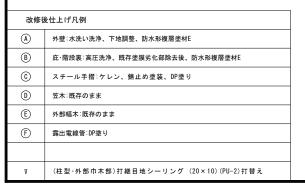
✓ クラック補修位置を示す 2 階平面図 S=1:100 室 名 改修室を示す

R階平面図 S=1:100

工事名称		図面N	D. 10	/
三国公井	է職業安定所外壁·内壁修繕工事			13
図名	2 · R階平面図	整理N	^{).} A-	-09
	縮尺 1 / 100 /	4	月	В
K M R	- ## # # # # # # # # # # # # # # # # #		築士 No. 木村憲-	
🍑	KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所:福井県福井市大手2丁目20-15		СН	DR





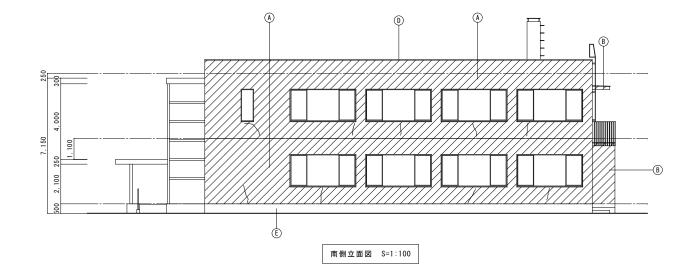


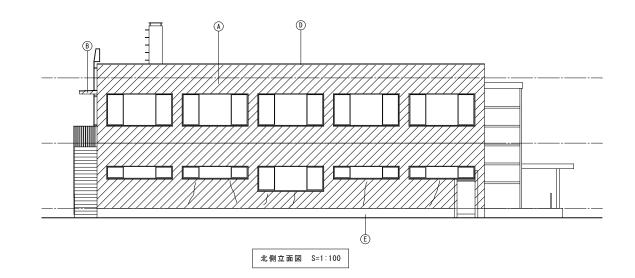


報告書を元に、協議の上、施工方法を決定のこと。

外壁クラック部を示す(参考)

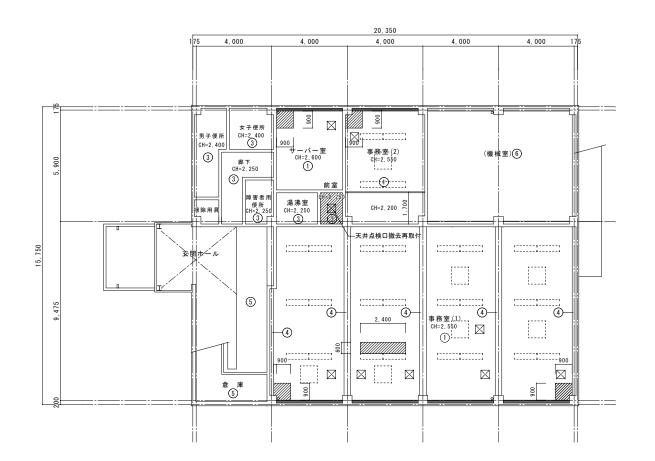
外壁改修工法		1~2F計					
外壁クラック部	幅 0.2~1.0mm 自動低圧樹脂注入工法	20m					
外壁グラック部	幅 1.0mm以上 Uカットシーリング材充填工法	30m					

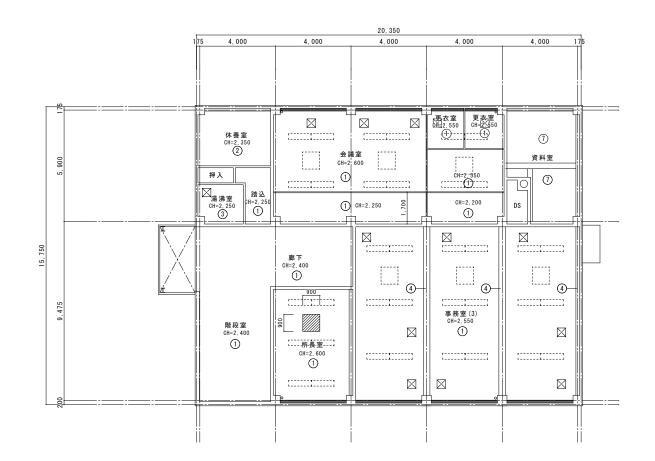




工事名 三国:		 ・職業安定所外壁・内壁修繕工事	図面N). 11	13		
Ø	名	各側立面図	整理N). A-	-10		
		縮尺 1 / 100 /	4	月	В		
K II		-###±#8所 知事登録 No. い-115 株式会社 木村建築事務所		築士 No 木村憲-	: No. 167899 才憲一		
→	-	KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD 事務所: 福井県福井市大手2丁目20-15		сн	DR		







1階天井伏図 S=1:100

天井仕上	げ凡例(現状)
記号	仕 上
1	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り
2	LGS下地、GB-D(杉柾)t-9張り
3	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り
4	梁型:GB-R張り、EP塗り 梁型:モルタル塗り、EP塗り
5	コンクリート打放し、複層塗材吹付
6	LGS下地、GB-Dt-9.5張り
7	木毛セメント板t25打込み、EP吹付
	既存アルミカーテンボックス
\square	既存天井点検口:アルミ製 450×450
::::::::	既存埋込型照明器具を示す
	既存天井カセットエアコンを示す

既存ボード撤去、新設部分を示す

2階天井伏図 S=1:100

工事名称		図面NO. 12/		
三国公共職業安定所外壁·内壁修繕工事		/	13	
図 名 1・2階天井伏図	整理N). A-	-11	
縮尺 1 / 100 /	4	月	В	
K N R 一般建築士事務所 知事登録 N o. いー115 株式会社 木村 建築事務所	-級建築士 No.167899 木村憲一			
KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO LTD				
事務所:福井県福井市大手2丁目20-15		СН	DF	

